

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	1 公共的空間安全・安心確保事業 (こども園)	担当課	こども園
総事業費(円)	2,150,744	事業の始期	R4.4
交付対象事業費(円)	2,150,744	事業の終期	R5.3
事業の概要	園児や保護者が利用するこども園において、感染拡大防止を図るため消耗品、薬品等の購入を行う。		
事業の効果	テント、テーブル、おむつ処理容器、ワイドペール等を購入し必要な感染症対策を講じることができた。		

事業No. 事業の名称	2 公共的空間安全・安心確保事業 (学童保育室)	担当課	こども家庭 推進室
総事業費(円)	98,921	事業の始期	R4.4
交付対象事業費(円)	98,921	事業の終期	R5.3
事業の概要	総合センターひびき内の学童保育室において、感染拡大防止を図るため、消耗品等の購入を行う。		
事業の効果	学童保育室へ消毒液、マスク、ウェットティッシュ、ペーパータオル、石鹸等を購入・設置し、感染症対策を行った。その結果、学童保育室の感染予防対策に繋がった。		

事業No. 事業の名称	3 公共的空間安全・安心確保事業 (学校施設)	担当課	教育推進課
総事業費(円)	229,071	事業の始期	R4.4
交付対象事業費(円)	229,071	事業の終期	R5.1
事業の概要	安堵小・中学校及び給食センターにおいて、感染拡大防止の為に消耗品、医薬材料費等の購入を行う。		
事業の効果	学校施設において購入した洗剤、体温計、消毒用アルコール、給食用手袋、マスク等を使用し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した。その結果、学校活動における感染対策を行うことができた。		

事業No. 事業の名称	4 公共的空間安全・安心確保事業 (生涯学習施設)	担当課	教育推進課
総事業費(円)	725,814	事業の始期	R4.4
交付対象事業費(円)	725,814	事業の終期	R5.3
事業の概要	不特定多数の出入りが予想される安堵町内の生涯学習施設において、感染拡大防止を図るため、消耗品等の購入を行う。		
事業の効果	カルチャーセンター、中央公園体育館、歴史民俗資料館、図書室において、感染症対策を講じるための消毒用アルコール、ペーパータオル等消耗品を購入した。その結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止に繋がった。		

事業No. 事業の名称	5 固定資産管理システムバージョン アップ事業	担当課	税務課
総事業費（円）	3,201,000	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	3,201,000	事業の終期	R5.3
事業の概要	固定資産管理システムのクラウド化を行い、行政のデジタル化を推進する。 その為の固定資産管理システムのシステム改修経費を計上した。		
事業の効果	役場庁舎内で複数人が同一のパソコンを使用するのを避けることで、接触の機会を減らし、コロナ禍における感染拡大防止に繋がった。		

事業No. 事業の名称	6 衛生用品等備蓄・配布事業	担当課	危機管理室
総事業費（円）	783,024	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	783,024	事業の終期	R4.6
事業の概要	新型コロナウイルスにより自宅療養になっている方に対し、衛生用品等を配布するため、購入し備蓄を行う。		
事業の効果	生理用品、高齢者おむつ、子供用おむつ、ミルク缶等を購入し、自宅療養になった方に対し、いつでも衛生用品を配布できる体制を構築できた。		

事業No. 事業の名称	7 こども園 衛生環境充実事業	担当課	こども園
総事業費（円）	1,699,500	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	1,699,500	事業の終期	R5.3
事業の概要	園児や保護者等が利用するこども園において新型コロナウイルス感染症対策として、感染リスクの高いトイレ利用時において、蓋のある洋式化に改修し、飛沫防止を図る。		
事業の効果	こども園のトイレを和式から蓋のある洋式トイレに改修した。その結果、飛沫防止及び新型コロナウイルス感染症防止に繋がった。		

事業No. 事業の名称	8 公共的空間安全・安心確保事業 (福祉保健センター)	担当課	健康福祉 推進室
総事業費（円）	22,674,186	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	17,625,461	事業の終期	R5.3
事業の概要	新型コロナウイルスワクチンの集団接種や乳幼児などの定期健診等不特定多数の利用があり、また避難所でもある福祉保健センターにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、より高機能の空調に更新し、カーテン等を抗菌仕様に変更する。		
事業の効果	高機能の空調に更新し、抗菌仕様カーテン、抗菌仕様のブラインド等を購入した。その結果、新型コロナウイルス感染拡大防止に繋がった。		

事業No. 事業の名称	9	観光パンフレット増刷事業		担当課	まちづくり 推進課
総事業費（円）	990,000	事業の始期	R4.4	補助	単独
交付対象事業費（円）	990,000	事業の終期	R4.11	単独	
事業の概要	ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、町観光パンフレットの増刷を行った。				
事業の効果	町内への観光客を増やすため、観光パンフレット10,000部を増刷し、関係機関への配布・施設への設置を行うことができた。				

事業No. 事業の名称	10	スクールカウンセラー配置事業		担当課	教育推進課
総事業費（円）	826,575	事業の始期	R4.4	補助	単独
交付対象事業費（円）	826,575	事業の終期	R5.3	単独	
事業の概要	コロナ禍で、児童生徒の悩み事等が増加傾向であり、相談体制拡充のため、スクールカウンセラー配置の拡充を図る。				
事業の効果	安堵小・中学校へスクールカウンセラー配置の拡充を図ったことで、児童生徒の悩み事等を相談できる体制を構築することができた。				

事業No. 事業の名称	11	教育支援体制整備事業費補助金		担当課	教育推進課
総事業費（円）	3,016,444	事業の始期	R4.4	補助	補助
交付対象事業費（円）	1,600,444	事業の終期	R5.3	単独	
事業の概要	新型コロナウイルス感染症により、純増する教師の業務等をサポートし、教師が子どもの学びに注力できるようスクール・サポートスタッフを配置する。				
事業の効果	安堵小・中学校へスクールサポート・スタッフを配置できた。そして、教師の業務を軽減することができ、教師が子どもの学力に注力することができる体制を築くことができた。				

事業No. 事業の名称	12	ICT支援員派遣業務事業		担当課	教育推進課
総事業費（円）	2,882,880	事業の始期	R4.4	補助	単独
交付対象事業費（円）	2,882,880	事業の終期	R5.3	単独	
事業の概要	新型コロナウイルス感染症により純増する教師の業務等をサポートするとともに、ICT教育・GIGAスクール構想の推進のためにICT支援員の派遣を行う。				
事業の効果	安堵小・中学校へICT支援員の派遣を行うことで、教師の業務軽減及びICT教育、GIGAスクール構想の推進を進めることができた。				

事業No. 事業の名称	13 小学校 修学旅行等バス増車事業	担当課	教育推進課
総事業費（円）	1,190,835	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	1,190,835	事業の終期	R4.11
事業の概要	新型コロナウイルス感染防止策として、安堵小学校における校外学習及び修学旅行時の3密対策としてバスを増車し、感染防止を図る。		
事業の効果	安堵小学校の修学旅行等におけるバスの車内で密にならないようにバスを増車した。その結果、車内での3密を防止し新型コロナ感染症防止を行うことができた。		

事業No. 事業の名称	14 中学校 修学旅行等バス増車事業	担当課	教育推進課
総事業費（円）	530,314	事業の始期	R4.4
交付対象事業費（円）	530,314	事業の終期	R4.11
事業の概要	新型コロナウイルス感染症防止策として、安堵中学校における校外学習及び修学旅行時の3密対策としてバスを増車し、感染防止を図る。		
事業の効果	安堵中学校の修学旅行等におけるバスの車内で密にならないようにバスを増車した。その結果、車内での3密を防止し新型コロナ感染症防止を行うことができた。		

事業No. 事業の名称	15	修学旅行キャンセル費用保険料 負担金事業（安堵中学校）		担当課	教育推進課
総事業費（円）	61,980	事業の始期	R4.4	補助	単独
交付対象事業費（円）	61,980	事業の終期	R4.5	単独	
事業の概要	安堵小・中学校において感染拡大になった場合に、修学旅行のキャンセル費用保険料を負担し、保護者の負担軽減を図る。				
事業の効果	新型コロナウイルス感染症拡大により、保護者負担を軽減するためにキャンセル保険に加入した。結果として、小学校の修学旅行がキャンセルなく実施できキャンセル料を負担することはなかったが、体制を整えることで保護者に安心感を与えることができた。				

事業No. 事業の名称	16	こども園 保育料・給食費無償化 (5カ月) 事業		担当課	こども園
総事業費（円）	7,455,545	事業の始期	R4.6	補助	単独
交付対象事業費（円）	6,736,600	事業の終期	R5.3	単独	
事業の概要	コロナ禍において物価高騰等に直面する子育て世帯に対し、保護者負担の軽減を目的に安堵こども園において、5カ月分の保育料及び給食費において高騰した分の食材購入費を無償化する。				
事業の効果	5カ月分の保育料及び給食費において5カ月無償化したことで、保護者への負担を軽減できた。				

事業No. 事業の名称	17 安堵小中学校給食費 無償化（5カ月）事業	担当課	教育推進課
総事業費（円）	8,544,800	事業の始期	R4.6
交付対象事業費（円）	8,544,800	事業の終期	R5.3
補助 単独	補助 単独	単独	単独
事業の概要	コロナ禍において、物価高騰等に直面する子育て世帯に対し、保護者負担の軽減を目的に安堵小中学校において、5カ月分の給食費の高騰した分の食材購入費を無償化する。		
事業の効果	5カ月分の高騰した分の給食費を無償化したことで、保護者への負担を軽減できた。		

事業No. 事業の名称	18 地域振興券発行事業	担当課	まちづくり 推進課
総事業費（円）	77,174,437	事業の始期	R4.6
交付対象事業費（円）	77,174,437	事業の終期	R5.3
補助 単独	補助 単独	単独	単独
事業の概要	①町独自の地域振興券を発行し、地域経済再生のきっかけを創出する。 ②1世帯に2万円の地域振興券を発行。		
事業の効果	新型コロナウイルス感染症により影響を受けている事業所や住民生活に対し、町内限定で活用できる振興券を発行することで、生活支援及び経済活性化を図ることができた。		

事業No. 事業の名称	19 公共的空間安全・安心確保事業 (議場)	担当課	総合政策課
総事業費(円)	330,000	事業の始期	R4.6
交付対象事業費(円)	330,000	事業の終期	R4.8
事業の概要	庁舎内の議場カメラの操作室が密閉空間であり、換気機能がないため、議場内でカメラ操作を行うことにより、新型コロナ感染拡大防止を図る。		
事業の効果	議場内でカメラ操作を行うことで、密閉空間もなくなり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図れた。		

事業No. 事業の名称	20 公共的空間安全・安心確保事業 (議会事務局)	担当課	議会事務局
総事業費(円)	446,600	事業の始期	R4.6
交付対象事業費(円)	446,600	事業の終期	R4.11
事業の概要	会議室等で使用するマイクを新たに導入し、使いまわしをせず、コロナ感染拡大防止対策を図る。また、スピーカー、録音を一体化し、議事録作成の効率化を図り、事務のデジタル化を図る。		
事業の効果	マイクを新たに導入したことにより、複数人が同一のマイクを使用することがなく、新型コロナウイルス感染症リスクの低減を図る事ができた。		

事業No. 事業の名称	21	自治体オンライン手続き構築事業		担当課	総合政策課
総事業費（円）	4,620,000	事業の始期	R4.10	補助	単独
交付対象事業費（円）	4,620,000	事業の終期	R5.3	単独	
事業の概要	新型コロナウイルス感染症予防の為、非接触型の自治体オンライン手続きを推進することで窓口に出向かず、各種申請等が可能となる。また、申請情報の入力を省略できるなど業務の効率化を図り行政のデジタル化を推進する。				
事業の効果	非接触型の自治体オンライン手続きを構築することによって、窓口に出向かず、各種申請等が可能となった。これにより、窓口での接触機会の軽減と行政のデジタル化を図る。				